

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

宮城県栗原市 栗原市立栗駒病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
65,811	4,954	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

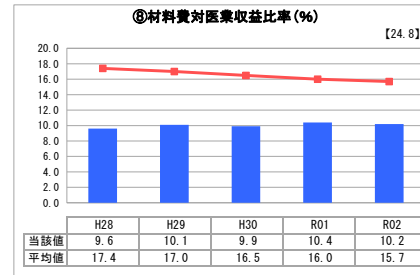
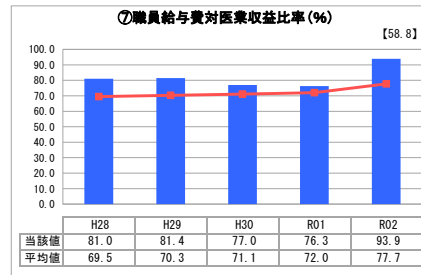
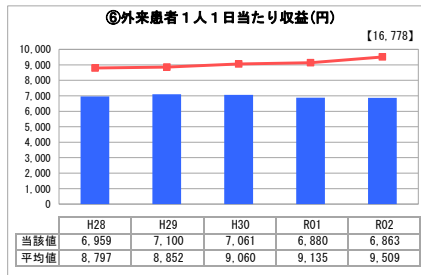
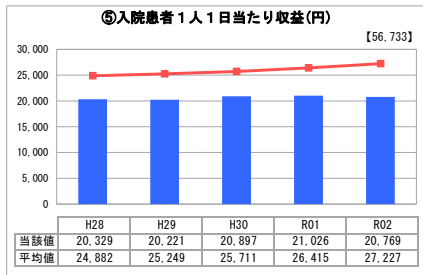
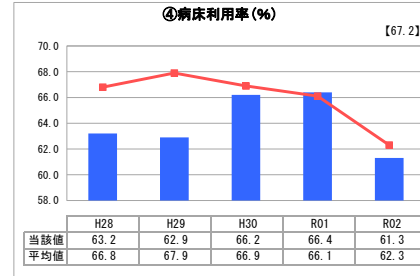
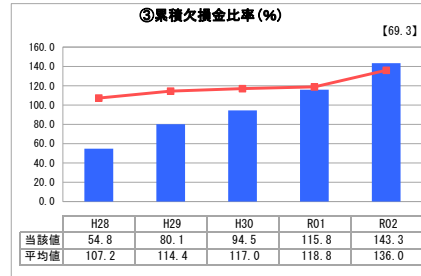
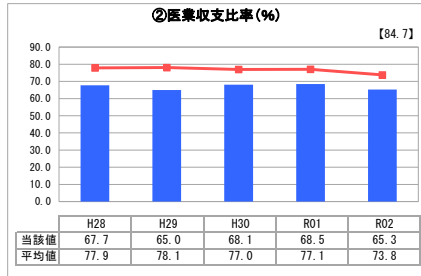
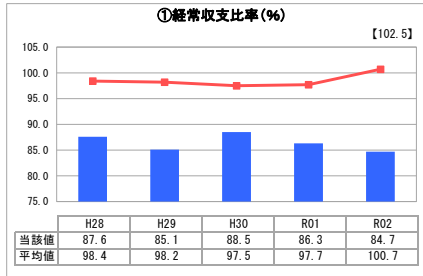
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
45	30	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	75
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
42	26	68

グラフ凡例

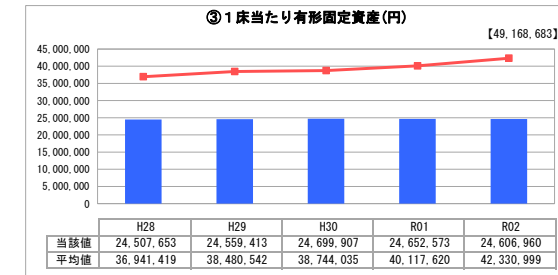
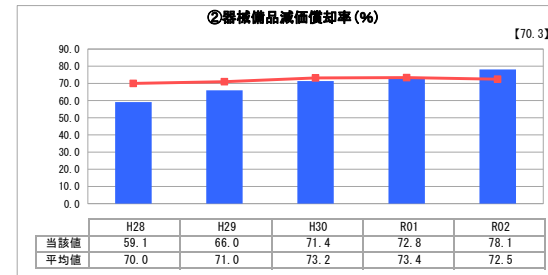
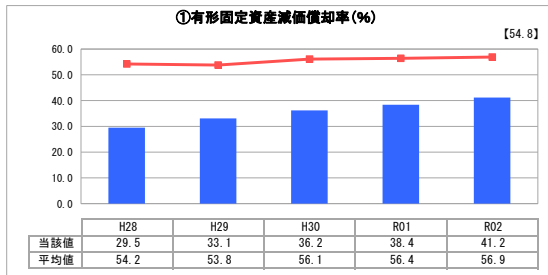
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

医職・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

診療圏で唯一の入院施設の有る病院として、診療圏内の診療所や介護施設において入院治療が必要と判断された患者について、受け入れてもらえる入院施設として住民の安心安全に貢献している。  
この診療圏の高齢化少子化に対応する療養施設としての役割が必要となる。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医療収支比率ともに、以前から100%を下回っている。これは、病床利用率にも表れているが、人口減少による患者数の減少が要因と考える。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものとする。

また、地域の患者需要に応じた病床数の削減が必要と判断し、令和3年度に病床数適正化（病床数縮小）を行うため、2月後半から入院患者調整を実施したことも要因と考える。なお、病床数縮小に伴う人員削減による人件費削減にも取り組むこととした。  
職員給与と費対医療収益比率が高いのは、医療スタッフの高齢化によるもので、市立病院間の人事交流が必要と考える。

### 2. 老朽化の状況について

病院新築時に購入した医療機器が耐用年数を超え始めている為、将来構想を見据えた医療機器の更新が必要となっている。  
病院本体の空調設備についても耐用年数を超えてきており、室外機・室内機共に故障はじめてきているので、定期的な修繕が必要となっている。  
病院本体の設備に関しても、故障や修理や交換が必要な部分も増え続けてきている。  
今後、大規模修繕を見据えて、計画修繕も考慮していかなければならない。

### 全体総括

診療圏の人口の減少に伴い、患者数も確実に減ると思われるため、地域の患者需要に応じた病床数の削減が必要と判断され、令和3年度に病棟再編に取り組むことになった。  
このことに伴い、医療スタッフ数の削減を実施するが、次代を担うスタッフの更なる確保が必要と考える。  
まずは医師の招聘が喫緊の課題となっている。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。